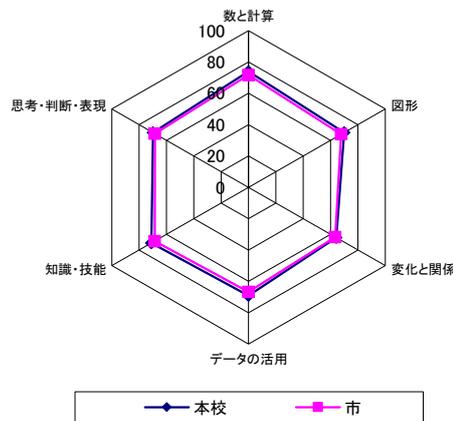


宇都宮市立瑞穂台小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	74.0	71.8	76.2
	図形	69.9	67.7	67.8
	変化と関係	64.1	63.4	62.7
	データの活用	69.1	66.7	61.5
観点別	知識・技能	71.1	68.6	70.7
	思考・判断・表現	69.8	68.5	66.0

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<p>平均正答率は市の正答率を上回っている。</p> <p>○図を見て、小数倍の比較量を求める問題では、市の平均を上回っている。</p> <p>●図を見て、小数倍の何倍かを求める問題では、市の平均を下回っている。</p> <p>●図を見て小数倍の文章問題を解くために除法の立式をたてる問題や文字を使った式が表す場面を選ぶ問題では市の平均を下回った。</p> <p>●数直線を見て、どんな式になるかを考える問題では、市の平均を上回っている。</p>	<p>・授業の中で、解法や理由を説明したり、算数の用語を使って分かりやすく文章でまとめたりする活動を意図的に取り入れていく。</p> <p>・授業の中で進んで数直線やグラフなどを書いたり、読み取ったりする機会を増やす。</p> <p>・xやyなどの文字を用いた式に慣れ親しめるよう、意図的に扱う。</p>
図形	<p>平均正答率は市の正答率を上回っている。</p> <p>○三角柱の展開図を組み立てたときに重なる辺の長さを求める問題では、市の平均を大きく上回った。</p> <p>○直方体を組み合わせた形の体積を求める問題では、市の平均を大きく上回っている。</p> <p>●線対称な図形について、対称の軸が何本あるかを求める問題では、市の平均を下回った。</p> <p>●半円と四分の一の円を組み合わせてできる図形の面積の求め方を説明する問題では、市の平均を下回った。</p>	<p>・学んだことを生かすような問題に取り組んだり、一つの問題でも様々な見方や解き方があるという視点を意識して指導をしたりする。</p> <p>・文章問題を注意深く読み、何を求めたらいいのかを正確に把握してから、学んだことを使って解決に向かう指導をする。</p> <p>・図形の移動を視覚的に捉えらえるようにデジタル教材を活用する。</p>
変化と関係	<p>平均正答率は市の正答率を上回っている。</p> <p>○基準量と比較量から割合を求める問題では、市の平均を上回っている。</p> <p>●図から面積と数の割合を、混みぐあいを考察する問題では、市の平均を下回っている。</p> <p>●速さの単位の間隔を理解し、時速を秒速や分速に直す問題では、市の平均を下回っている。</p>	<p>・基礎的・基本的な指導事項を確認し、既習内容を復習したり繰り返し学習させたりする。</p> <p>・文章問題を注意深く読み、何を求めたらいいのかを正確に把握してから、学んだことを使って解決に向かう指導をする。</p>
データの活用	<p>平均正答率は市の正答率を上回った。</p> <p>○値に0のある連続量の平均を求める問題では、市の平均を大きく上回った。</p> <p>○ドットプロットから、中央値を読み取る問題では、市の平均を上回った。</p> <p>●欲しいデータを求めるために必要な正しい情報を選ぶ問題では、市の平均を下回った。</p>	<p>・文章問題を注意深く読み、何を求めたらいいのかを正確に把握してから、学んだことを使って解決に向かう指導をする。</p> <p>・グラフを見て情報を読み取る機会を多教科にまたがって意図的に取り入れ、理由や説明を言語化する学習活動を重ねる。</p>